

あいちサイエンスフェスティバル 2016 は、愛知県全域で開催される地域科学祭です。国立大学法人名古屋大学が主催し、蒲郡市生命の海科学館も参加している、愛知県内 23 機関による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携活動として実施しています。

9/18
SUN.

オープニング講演会

生物進化の起源にせまる！ 〜カンブリア爆発研究最前線〜

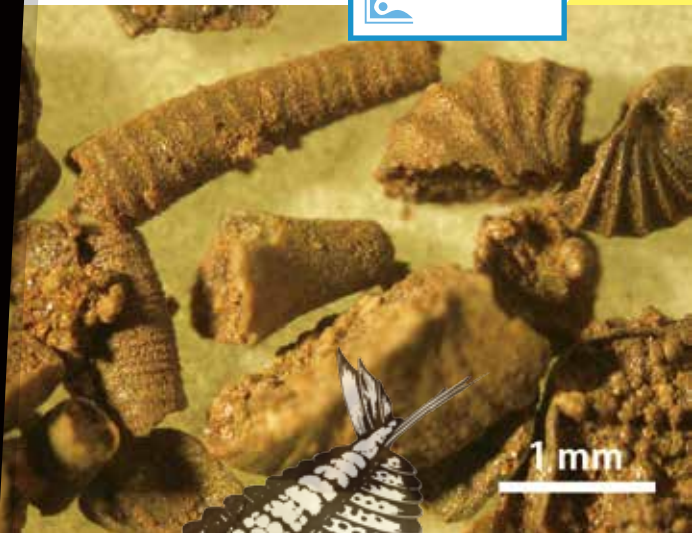
どんな条件下で地球生命は進化してきたのか？

中国・雲南省での地質調査からカンブリア爆発の起源に迫る！



東京工業大学 地球生命研究所 ELSI 研究員

佐藤 友彦さん



いつどこで、どんな条件下で地球生命は進化してきたのか？

今から約5億年前、カンブリア紀の爆発的な生物進化の中でも、三葉虫やアノマロカリスより先に急激な多様化を遂げた化石グループ「small shelly fossils (小型有殻化石群)」に

焦点を当て、中国・雲南省

での野外地質調査により

「カンブリア爆発の始まり」

を突き止め、「生物進化の起源」に迫ります！

あいちサイエンスフェスティバル 2016 in 蒲郡

2016年9月17日(土)〜11月3日(木・祝)

共催 蒲郡市生命の海科学館、国立大学法人名古屋大学、愛知県
協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 JAXA、一般財団法人 日本地質学会、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

クロージング講演会

ヒトはなぜ絵を描くのか

チンパンジーが絵筆を握った。

子供の絵と比較して浮かび上がってきたヒトならではの特徴とは？



京都造形芸術大学 文明哲学研究所 准教授

齋藤 亜矢さん

子どもがはじめて描く絵は、たどたどしいなぐりがきです。身体を使って、いわば探索するように描くうちに、なぐりがきかまとまりを持ち、3歳ごろになると、「かお」などの何かを表す絵を生み出すようになります。そのとき、何が起るのでしょうか。

注目したのが、進化の隣人であるチンパンジーです。絵筆を握ったチンパンジーは、なにを描き出すのでしょうか。子どもの絵と比較することで、芸術を生み出したヒトならではの特徴のひとつが見えてきました。ヒトが描いたもとも古い絵、旧石器時代の洞窟壁画にも、その手がかりが・・・？

ヒトはなぜ描き、描かれたものに魅了されるのか。絵を描く心の基盤や芸術の起源について、進化の視点からお話します。



写真・画像提供：京都大学霊長類研究所

11/3
THU.

どちらも

午後2時〜3時30分
蒲郡市生命の海科学館 1Fサイエンスショールーム
中学生以上〜一般向け / 参加費無料
*事前申込み不要です。直接会場へお越しください。